

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 大

上場会社名 日本ラッド株式会社  
 コード番号 4736 URL <http://www.nippon-rad.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大塚 隆一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 佐々木 啓雄  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5574-7800

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	727	△10.3	△197	—	△195	—	△124	—
24年3月期第1四半期	811	10.1	△129	—	△134	—	△132	—

(注)包括利益 25年3月期第1四半期 △171百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △131百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△31.08	—
24年3月期第1四半期	△33.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,030	1,468	36.3
24年3月期	4,304	1,656	38.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,464百万円 24年3月期 1,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,012	2.4	△171	—	△178	—	△109	—	△27.13
通期	4,667	10.1	23	—	9	—	28	—	6.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結結果計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	4,505,390 株	24年3月期	4,505,390 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	488,300 株	24年3月期	488,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	4,017,090 株	24年3月期1Q	4,017,156 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として緩やかに回復傾向が見られる一方で、欧州の政府債務問題により金融市場は不安定な状況が継続しました。情報サービス産業界におきましては、企業等の情報化投資は、回復が見込まれているものの、為替が円高に転じていることから先行き経済の不透明さも依然として高いなか、慎重な姿勢は継続しております。

このような状況の中、当社グループは、「排熱型データセンター」の追加設備投資を行い、クラウドサービスやデータセンター関連の新規受注活動に注力して、ストックによる収益比率の向上を図る一方で、システム受託開発プロジェクトの赤字再発防止のため、組織体制とプロジェクトマネジメント体制の見直しを実施して利益創出体制を強化してまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、7億27百万円（前年同期比10.3%減）となりました。利益面につきましては、営業損失1億97百万円（前年同期は1億29百万円の損失）、経常損失1億95百万円（前年同期は1億34百万円の損失）となりました。

四半期純損益につきましては、経常損失に加えて、投資有価証券売却益74百万円の特別利益と税金費用の発生により、四半期純損失は、1億24百万円（前年同期は1億32百万円の損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

「プロダクトマーケティング事業」では、LED光源による大型壁面マルチスクリーンディスプレイパネルの案件が官公庁向けに引き合いが多いこと、セキュリティ製品プロダクツの販売による順調な売上推移により、売上高67百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

「ビジネスソリューション事業」では、システム受託開発において、前期からの赤字プロジェクトは、検収に至り通常の事業活動に戻るなか、派遣常駐型のシステム開発は、首都圏では安定した継続受注による堅調な売上貢献や、地方事業所の受注活動強化による新規案件が増加傾向にあり、売上高4億20百万円（前年同期比24.8%増）となりました。

「システムソリューション事業」では、前期の特殊車輛向け情報車載端末のFOMA化切り替え需要も一服して、医療機関向けの医事システム販売も受注が先送りになっているため、全体的に低調に推移して、売上高1億68百万円（前年同期比49.9%減）となりました。

「ネットワーク事業」では、多種多様なクラウド関連サービスの受注活動に注力する一方で、サービスの選択と集中に取り組んでおり、売上高71百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は21億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億13百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が89百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が2億98百万円、仕掛品が31百万円減少したことによるものであります。固定資産は19億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1億35百万円増加しましたが、投資有価証券の売却による減少1億46百万円、長期性預金50百万円を流動資産へ振替えたことによるものであります。

この結果、総資産は40億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億73百万円減少いたしました。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は11億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円減少いたしました。これは主に未払金が1億51百万円増加しましたが、買掛金が1億27百万円、短期借入金が返済により64百万円減少したことによるものであります。固定負債は13億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が13百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は25億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ86百万円減少いたしました。

##### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は14億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億87百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失1億24百万円、有価証券売却による有価証券評価差額金46百万円の減少、剰余金の配当20百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は36.3%（前連結会計年度末は38.4%）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して39百万円増加し、11億11百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは63百万円の収入(前年同期は1億97百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権の減少3億2百万円、仕入債務の減少1億27百万円、たな卸資産の減少39百万円、税金等調整前四半期純損失1億21百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは96百万円の収入(前年同期は1億50百万円の支出)となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入1億46百万円、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出36百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1億19百万円の支出(前年同期は1億14百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の返済64百万円、長期借入金の返済38百万円、配当金の支払による減少14百万円などによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成24年5月18日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ794千円減少しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,072,010	1,161,278
受取手形及び売掛金	888,702	589,760
商品及び製品	88,949	86,062
仕掛品	190,230	159,065
原材料及び貯蔵品	32,564	29,906
その他	72,502	105,027
貸倒引当金	△1,805	△1,554
流動資産合計	2,343,154	2,129,547
固定資産		
有形固定資産	953,850	1,088,907
無形固定資産		
ソフトウェア	307,943	390,758
のれん	39,626	34,604
その他	145,473	48,707
無形固定資産合計	493,044	474,070
投資その他の資産		
投資有価証券	224,853	78,095
繰延税金資産	132,880	159,193
その他	218,849	166,589
貸倒引当金	△62,129	△65,772
投資その他の資産合計	514,454	338,106
固定資産合計	1,961,349	1,901,084
資産合計	4,304,504	4,030,631

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	257,002	129,297
短期借入金	240,000	175,001
1年内返済予定の長期借入金	287,501	262,481
1年内償還予定の社債	180,000	180,000
リース債務	7,205	7,261
未払法人税等	13,545	4,626
賞与引当金	13,154	1,595
受注損失引当金	54,494	23,804
その他	219,487	412,227
流動負債合計	1,272,390	1,196,294
固定負債		
社債	330,000	330,000
長期借入金	515,680	502,556
リース債務	19,222	17,385
退職給付引当金	309,009	312,669
役員退職慰労引当金	192,777	194,385
負ののれん	2,331	2,039
資産除去債務	5,616	5,647
その他	802	706
固定負債合計	1,375,439	1,365,390
負債合計	2,647,829	2,561,685
純資産の部		
株主資本		
資本金	772,830	772,830
資本剰余金	880,425	880,425
利益剰余金	172,775	31,527
自己株式	△226,419	△226,419
株主資本合計	1,599,611	1,458,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,298	5,819
その他の包括利益累計額合計	52,298	5,819
新株予約権	4,764	4,764
純資産合計	1,656,674	1,468,946
負債純資産合計	4,304,504	4,030,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	811,339	727,978
売上原価	759,463	756,705
売上総利益又は売上総損失(△)	51,876	△28,727
販売費及び一般管理費	181,649	168,739
営業損失(△)	△129,772	△197,466
営業外収益		
受取利息	74	58
受取配当金	995	1,009
賞与引当金戻入額	—	7,406
貸倒引当金戻入額	867	—
その他	513	1,754
営業外収益合計	2,449	10,228
営業外費用		
支払利息	6,133	4,354
貸倒引当金繰入額	—	3,391
その他	643	428
営業外費用合計	6,776	8,173
経常損失(△)	△134,099	△195,411
特別利益		
投資有価証券売却益	—	74,100
特別利益合計	—	74,100
特別損失		
投資有価証券評価損	—	164
特別損失合計	—	164
税金等調整前四半期純損失(△)	△134,099	△121,475
法人税等	2,080	3,387
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△136,179	△124,862
少数株主損失(△)	△3,318	—
四半期純損失(△)	△132,861	△124,862

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△136,179	△124,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,122	△46,479
その他の包括利益合計	5,122	△46,479
四半期包括利益	△131,057	△171,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△127,739	△171,342
少数株主に係る四半期包括利益	△3,318	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△134,099	△121,475
減価償却費	42,465	76,944
のれん償却額	5,480	4,730
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,173	3,660
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,057	1,607
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,982	△11,559
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△810	3,391
受注損失引当金の増減額(△は減少)	17,652	△30,689
受取利息及び受取配当金	△1,069	△1,067
支払利息	6,133	4,354
為替差損益(△は益)	611	14
持分法による投資損益(△は益)	114	428
投資有価証券売却損益(△は益)	△48	△74,100
売上債権の増減額(△は増加)	368,871	302,642
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45,148	39,830
仕入債務の増減額(△は減少)	△160,328	△127,705
その他	117,778	2,245
小計	210,850	73,250
利息及び配当金の受取額	1,093	1,060
利息の支払額	△5,139	△2,650
法人税等の支払額	△8,890	△8,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	197,913	63,045
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△74,907	△15,824
無形固定資産の取得による支出	△66,383	△20,287
投資有価証券の取得による支出	△99	—
投資有価証券の売却による収入	139	146,300
差入保証金の差入による支出	—	△15,000
貸付けによる支出	△10,000	—
貸付金の回収による収入	574	943
その他	60	80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150,616	96,211
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△90,000	△64,999
長期借入金の返済による支出	△39,644	△38,144
少数株主の増資引受による払込額	32,000	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,587	△1,876
配当金の支払額	△15,081	△14,955
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114,313	△119,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	△611	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△67,628	39,267
現金及び現金同等物の期首残高	1,091,128	1,072,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,023,500	1,111,278

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。
- (6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。